

中華圏株式ファンド (毎月分配型)

愛称：チャイワン

ファンドの概要

設定日 2010年10月29日
 償還日 2026年10月2日
 決算日 原則毎月4日
 分配時期 第2期以降、決算日毎

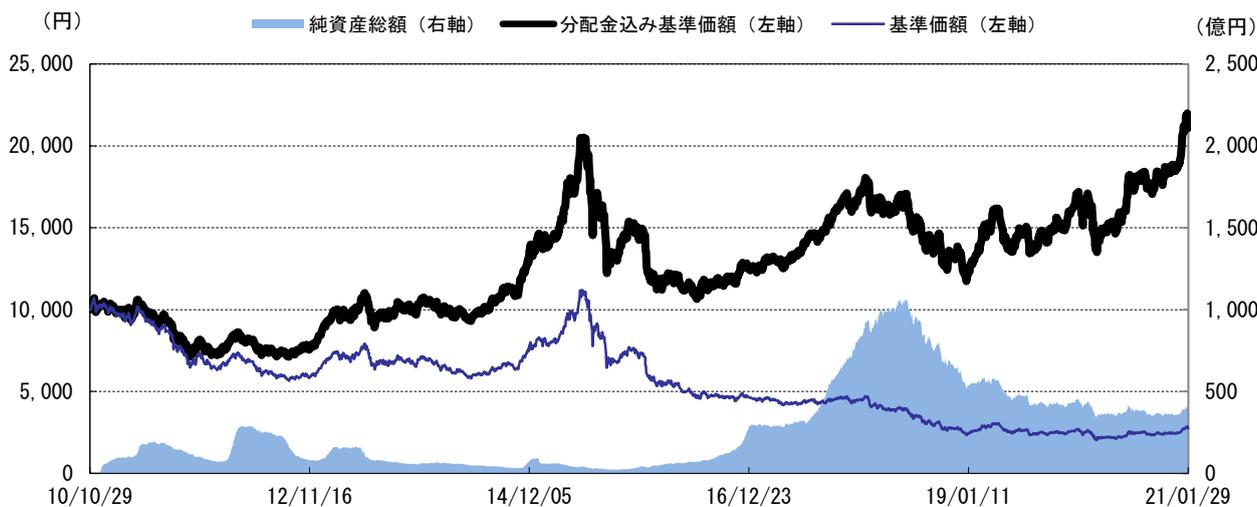
ファンドの特色

1. 主として、中国経済圏（中国、香港、台湾）の株式に投資します。
 2. 原則として、毎月、安定した収益分配を行なうことをめざします。
 3. 日興アセットマネジメント アジア リミテッドが運用を行ないます。
- 中国A株や、アジアの株式への投資に豊富な実績を有する、日興アセットマネジメント アジア リミテッドが、当ファンドの実質的な投資対象である「チャイナランド株式マザーファンド」および「中国A株マザーファンド」の運用を行ないます。

運用実績

※当レポートでは基準価額を1万口当たりで表示しています。
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

<基準価額の推移>



※分配金込み基準価額の推移は、分配金（税引前）を再投資したものを表示しています。
 ※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。
 信託報酬の詳細につきましては、後述の「手数料等の概要」をご覧ください。

基準価額 : 2,733円
 純資産総額 : 389.24億円

<基準価額の騰落率>

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
11.52%	17.48%	20.59%	33.61%	19.98%	110.91%

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資し計算しています。

<分配金実績(税引前)>

設定来合計	直近12期計	20・2・4	20・3・4	20・4・6	20・5・7	20・6・4
10,130円	460円	50円	50円	50円	50円	50円
		20・7・6	20・8・4	20・9・4	20・10・5	20・11・4
		30円	30円	30円	30円	30円
					20・12・4	21・1・4
					30円	30円

<基準価額騰落の要因分解>

前月末基準価額	2,480円
当月お支払いした分配金	-30円
要	
株式等要因	244円
為替要因	42円
因	
その他	-3円
当月末基準価額	2,733円

※上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

<資産構成比率>

チャイナランド株式ファンド (適格機関投資家向け)	99.2%
チャイナランド株式マザーファンド	54.5%
中国A株マザーファンド	44.2%
その他	0.5%
マネー・アカウント・マザーファンド	0.5%
その他	0.3%

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ポ ー ト フ ォ リ オ の 内 容

<組入上位10業種>

	業種	比率
1	食品・飲料・タバコ	14.3%
2	半導体・半導体製造装置	10.6%
3	銀行	10.1%
4	不動産	9.0%
5	保険	7.9%
6	資本財	7.4%
7	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	5.9%
8	素材	5.7%
9	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	5.0%
10	各種金融	4.7%

<国別組入比率>

	国名	比率
1	中国	78.2%
2	台湾	9.5%
3	香港	9.3%
4		
5		

<上場市場別組入比率>

	市場名	比率
	上海市場	24.2%
	深セン市場	16.1%
	香港市場	45.7%
	台湾市場	9.5%
	米国市場	1.5%
	その他市場	0.0%

<通貨別組入比率>

	通貨名	比率
1	香港ドル	45.7%
2	人民元	40.2%
3	新台湾ドル	9.5%
4	アメリカドル	1.5%
5		

※人民元の比率には、オフショア人民元を含みます。

<組入上位10銘柄> (銘柄数: 79銘柄)

	銘柄名	上場市場	業種	比率
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	台湾市場	半導体・半導体製造装置	5.02%
	台湾セミコンダクター			
2	PING AN INSURANCE GROUP CO-H	香港市場	保険	4.24%
	ピンアン・インシュアランス			
3	CHINA FEIHE LTD	香港市場	食品・飲料・タバコ	4.19%
	チャイナ・フェイフー			
4	PHARMARON BEIJING CO LTD-H	香港市場	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	3.36%
	ファーマロン・ベイジン			
5	ZOOMLION HEAVY INDUSTRY SCIENCE AND TE-H	香港市場	資本財	3.18%
	ズームリオン・ヘビー・インダストリー			
6	VISUAL PHOTONICS EPITAXY CO	台湾市場	半導体・半導体製造装置	3.17%
	ビジュアル・フォトニクス・エピタキシー			
7	TENCENT HOLDINGS LTD	香港市場	メディア・娯楽	3.07%
	テンセント・ホールディングス			
8	CHINA MERCHANTS BANK-A	上海市場	銀行	2.61%
	マーチャント・バンク			
9	LOGAN GROUP CO LTD	香港市場	不動産	2.24%
	ローガン・プロパティ			
10	CHINA OILFIELD SERVICES-H	香港市場	エネルギー	2.23%
	チャイナ・オイルフィールド			

※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。
 ※上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。
 ※2018年10月31日現在よりISINコードで銘柄を統合した表記にしています。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎市場環境

1月の中国A株市場は、内需支援の政策期待や潤沢な流動性などを下支えに前月に続いて大きく上昇しました。堅調な中国の景気回復動向や内需・消費拡大支援の政策期待などを受け、市場は月初から急伸して上値を迫る展開となりました。月末にかけては、新型コロナウイルスによる中国国内の複数の都市封鎖実施や、中国人民銀行がリバース・レポを通じた流動性供給を停止して短期金利が急上昇し、金融政策の引き締めスタンスへの転換観測が浮上したことなどを受けて、利食いが台頭してやや下落したものの、昨夏以来の上昇基調から一段高となり月を終えました。中国人民銀行による短期的な引き締めを経て、その後流動性供給は再開されて短期金利は正常化しましたが、堅調な中国経済や先進国におけるワクチン接種の進展を背景に投資家の間では金融政策が正常化へ向かうとの懸念が根強くなりました。また、世界経済の回復期待とインフレ期待がともに高まりました。

セクターおよび主要業種別では、化学品や、金属、建材、消費財などの景気循環セクターがアウトパフォームする一方で、通信や、コンピューター・ソフトウェア、電子機器などは大きく出遅れとなりました。

1月の中国H株市場は、中国の内需拡大の政策期待や中国本土株の好調などを背景に良好なリスクセンチメントが続き、前月末比で大幅に上昇して当月中の中華圏の中では最も好調なパフォーマンスとなりました。

中国の2020年10-12月期実質GDP成長率は前年同期比6.5%増に急上昇し、12月の鉱工業生産も7.3%の急成長を示すなど、第4四半期も大幅な成長の再加速が続きました。1月の財新製造業PMIは51.5と前月からやや低下しましたが、依然として新年度に向けて堅調な成長バイアスを示しました。中国の医療・電子製品に対する世界的な需要を背景とする輸出の急増が、この成長の急回復を牽引しているとみられます。

1月の香港市場は、中国本土からの資金流入や中国の堅調なマクロ経済指標などがプラス材料となり、前月の下落から大きく反発しました。中国本土株の上昇や予想を上回った中国の2020年10-12月期実質GDP成長率、ストック・コネクト経由の記録的な資金流入も押し上げ材料となり、米国による対中国企業への締め付け強化懸念などをこなしテクノロジー関連を中心に大きく上昇しました。一方、香港域内では景気鈍化とロックダウンが重石となっており、既に成長が加速している中華圏域内では成長が回復する最後の市場となる公算が高いとみられます。小売売上高は依然マイナス成長が続いており、近いうちにプラスに転じる可能性は低いと予想されます。

1月の台湾市場は、リスク選好度が高まる中で主力ハイテック株の好業績や堅調な国内のマクロ指標などを好材料に前月末比で大幅に上昇しました。米バイデン新政権による大型の経済対策期待などからリスクオンの展開となり、主力ハイテック株を中心に買われて市場は当月も過去最高値を更新しました。月末にかけては短期的な過熱感などから利食いが台頭してやや下落しましたが、高値圏で月を終えました。台湾の2020年通年実質GDP成長率は前年比2.98%と中国の同2.3%の成長を上回り、また12月の鉱工業生産や製造業PMIも予想を上回る伸びとなりました。台湾企業は、在宅勤務や学習におけるオンラインの存在が世界的に高まる中で、PC関連などの極めて高いIT製品需要から恩恵を受け続けています。このトレンドは新型コロナウイルスの収束に伴って減退すると予想される一方で、企業需要の増加がこれを緩和するとみられます。

セクター別では、その他電子部品や半導体が大きく市場を牽引し、電子部品、コンピューター・周辺機器なども好調でした。一方、紙パルプや、運輸、ガラス・陶磁器などは大きく出遅れとなりました。

◎運用概況

当月ファンドの基準価額は、中国の政策期待の高まりや好調なマクロ経済指標などを背景に中華圏市場全体が上昇する中で、前月末比で大きく上昇しました。

当月ポートフォリオでは、生活必需品のエクスポージャーを引き上げるなどの限定的な調整を行いました。

◎今後の見通し

中華圏3市場において、当ファンドは引き続き中国本土市場を重点に、香港、台湾市場へも投資する方針を維持しています。

北アジア、特に中華圏では新型コロナウイルスの猛威による影響が比較的限定的であり、また恩恵を受けているケースもあると市場で認識されていることもあり、中華圏の市場は年初から急上昇しました。欧米の医療や電子機器分野のサプライチェーンは特に北アジアの製造業に依存しており、中華圏の輸出動向は通常の連休期間よりもさらに好調となって2020年12月の中国のドル建て輸出は前年比18.1%増と急成長し、台湾の12月輸出受注も過去最高となりました。また、GDPのような広範な経済指標も世界経済が縮小する中で回復力と成長を示し、中国の2020年10-12月期実質GDP成長率は前年同期比6.5%プラス（通年2.3%プラス）、台湾も同4.9%プラス（通年2.98%プラス）の成長となりました。ほとんどの新興国が景気減速かマイナス成長となる中で中華圏の成長は、この困難な時期を乗り切ってきた政府の政策能力の証しであると考えられます。

米国のバイデン新政権が世界的な規範に従い、専断やSNSではなく伝統的で構造化されたプロセスで政策決定することが見込まれ、地政学的にはより安定した環境の始まりが期待されています。より論理的で構造化された米中関係が生まれ、双方に長期的にプラスをもたらすと予想しています。米国の新型コロナ問題を鑑みると新政権の中国政策はすぐに明らかにならず、関税や、投資禁止企業リスト、技術特許問題などがすぐに撤回されるとは考えられませんが、交渉を通じてより親和的な貿易関係になることを期待しています。

新型コロナウイルスのワクチンが世界的にゆっくり展開され、またワクチン配分・物流の問題も複雑であるため、世界的な正常化は緩やかなペースになると予想しています。回復に伴って自動車や、観光、小売、運輸などの分野は長いトンネルの先ようやく光が見えて継続的に成長すると期待されます。しかし同時に、ファンドが長年注力してきた持続的な投資テーマは、このような投資環境の変化の中でもアウトパフォームを続けると考えています。特に、5Gは地域・世界的な展開によって2021年だけでその通信量が2倍近くになると予想されており、また、電気自動車も成長が加速して現在の低い市場浸透率から非常に速いペースで普及すると予想されています。また重要なことに、自動化、AI、機械学習、デジタル経済インフラの急増など経済のあらゆる側面に長期的に重要な影響を与えるこれらの新技術は5Gの出現によって全てがスピードアップしています。当ファンドでは、これらの市場トレンドの恩恵を受けて成長する余地のある中華圏の企業を発掘し、投資を続ける方針です。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ご参考情報

※「組入上位10銘柄の銘柄概要」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。
※記載の見解等は、作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

＜組入上位10銘柄の銘柄概要＞

1 TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC / 台湾セミコンダクター / 台湾積体回路製造
台湾の半導体メーカー。ウェハー製造、ブロービング、組み立て、検査のほか、マスクの製造、設計サービスを提供する。同社の集積回路はコンピューター、通信機器、消費者向け電子製品、自動車、工業機器の各産業で使用される。
2 PING AN INSURANCE GROUP CO-H / ピンアン・インシュアランス / 中国平安保険
中国の大手保険会社。また、不動産保険、損害保険も手掛ける。銀行、フィンテックへも参入。
3 CHINA FEIHE LTD / チャイナ・フェイファー / 中国飛鶴
中国の粉ミルク最大手。中国を代表する乳児用粉ミルクブランド「飛鶴」を展開。
4 PHARMARON BEIJING CO LTD-H / ファーマロン・ベイジン / 康龍化成（北京）新薬技術
製薬会社などに医薬品の研究開発サービスを提供する。新薬発見、非臨床試験、初期の臨床段階の開発などを請け負い、世界的な大手製薬メーカーのほとんどが顧客。
5 ZOOMLION HEAVY INDUSTRY SCIENCE AND TE-H / ズームリオン・ヘビー・インダストリー / 中連重科
建設機械メーカー。コンクリート関連機械、クレーン、道路工事用機械、掘削機、その他建設用重機などを製造、販売する。
6 VISUAL PHOTONICS EPITAXY CO / ビジュアル・フォトニクス・エピタキシー / 全新光電科技
台湾の半導体メーカー。商業無線通信、高解像度ポータブルアプリケーションに使用される半導体材料を開発、製造、販売する。主な製品は、ヘテロ接合型バイポーラトランジスタ・デバイスウェハーおよび擬似格子整合高電子移動度トランジスタ。
7 TENCENT HOLDINGS LTD / テンセント・ホールディングス / 騰訊
持株会社。世界最大級のゲーム企業で、中国を中心にソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）、電子決済サービスなどインターネットおよびモバイル付加価値サービス（VAS）、オンライン広告サービスを提供。
8 CHINA MERCHANTS BANK-A / マーチャント・バンク / 招商銀行
商業銀行。預金業務、融資、資産管理、資産カस्टディ、金融リース、投資銀行業務、およびその他の銀行サービスを提供する。中国内外で事業を展開。
9 LOGAN GROUP CO LTD / ローガン・プロパティ / 龍光地産控股
不動産開発会社。広東省を中心に住宅物件の開発を手掛ける。
10 CHINA OILFIELD SERVICES-H / チャイナ・オイルフィールド / 中海油田服務
油田サービス会社。物理探査、掘削、油田技術開発などのサービスを提供。輸送事業も手掛ける。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

■お申込みメモ

商品分類	追加型投信／海外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	2026年10月2日まで(2010年10月29日設定)
決算日	毎月4日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことをめざします。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金申込日または、購入・換金申込日の翌営業日が下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・香港証券取引所の休業日 ・香港の銀行休業日 ・上海証券取引所の休業日 ・中国の銀行休業日 ・シンセン証券取引所の休業日
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

■手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料

購入時の基準価額に対し3.85%(税抜3.5%)以内

※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。

<<ご参考>>

(金額指定で購入する場合)

購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額(お支払いいただく金額)となるよう購入口数を計算します。

例えば、100万円の金額指定で購入する場合、指定金額の100万円の中から購入時手数料(税込)をいただきますので、100万円全額が当ファンドの購入金額とはなりません。

※上記の計算方法と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

(口数指定で購入する場合)

例えば、基準価額10,000円のとときに、購入時手数料率3.85%(税込)で、100万口ご購入いただく場合は、次のように計算します。

購入金額=(10,000円/1万口)×100万口=100万円、購入時手数料=購入金額(100万円)×3.85%(税込)=38,500円となり、購入金額に購入時手数料を加えた合計額103万8,500円をお支払いいただくことになります。

換金手数料

ありません。

信託財産留保額

換金時の基準価額に対し0.5%

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用

純資産総額に対し年率1.76%(税抜1.6%)程度が実質的な信託報酬となります。

(信託報酬)

信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.1%(税抜1.0%)、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.66%(税抜0.6%)程度となります。
受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。

その他の費用・手数料

目論見書などの作成・交付に係る費用および監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入る有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。

※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕 www.nikkoam.com/ 〔コールセンター〕 0120-25-1404 (午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

■お申込みに際しての留意事項**○リスク情報**

- ・ 投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。
- ・ 当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

価格変動リスク

- ・ 株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- ・ 新興国の株式は、先進国の株式に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。
- ・ 公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。

流動性リスク

- ・ 市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・ 新興国の株式は、先進国の株式に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

信用リスク

- ・ 投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・ 公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。

為替変動リスク

- ・ 外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・ 一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

カントリー・リスク

- ・ 投資対象国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・ 一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。
- ・ 中国の証券市場および証券投資に関する枠組み（決済システムなど市場インフラを含みます。）には、様々な制限および制約があります。これらの制限および制約は、大部分が中国証券監督管理委員会（CSRC）および国家外貨管理局（SAFE）の裁量によって行なわれます。海外からの投資規制や海外への送金規制など種々の規制が緊急に導入されたり、あるいは政策の変更などによる新たな規制が設けられた場合には、ファンドにおいて換金代金等の支払いが遅延したり、投資対象市場に著しい悪影響を及ぼす可能性があります。

- 上海や深センのストックコネクト（株式相互取引制度）を通じた中国A株への投資においては、取引可能な銘柄が限定されていることに加えて、投資枠や取引可能日の制約、長期にわたって売買停止措置がとられる可能性などにより、意図した通りの取引ができない場合があります。また、ストックコネクト特有の条件や制限は、今後、中国当局の裁量などにより変更となる可能性があります。さらに、ストックコネクトにおける取引通貨はオフショア人民元となり、QFII制度の取引通貨である中国本土のオンショア人民元の為替レートの値動きとは乖離する場合があります。こうした要因から、ファンドの基準価額に影響を与える可能性があります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

○その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様にご理解を促すことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認ください。なお、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第67号	○	○	○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第52号	○	○	○	
岡三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第53号	○	○		○
岡地証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第5号	○	○		
株式会社京都銀行	登録金融機関 近畿財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第624号	○		○	
株式会社千葉興業銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第40号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第140号	○		○	○
株式会社長崎銀行	登録金融機関 福岡財務支局長（登金）第11号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第152号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

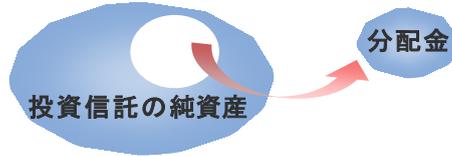
※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

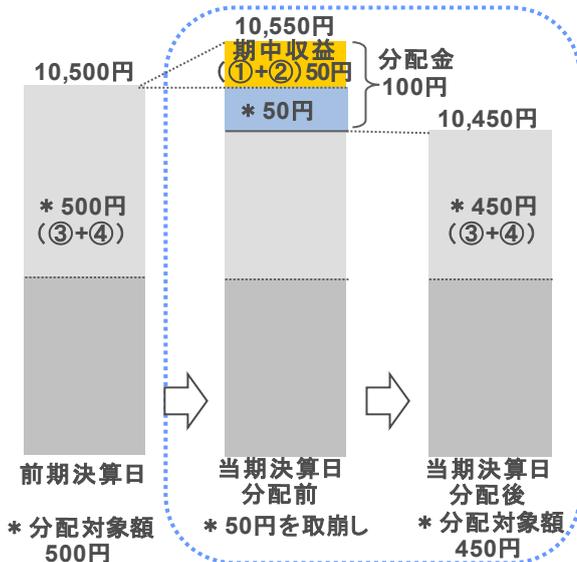
投資信託で分配金が支払われるイメージ



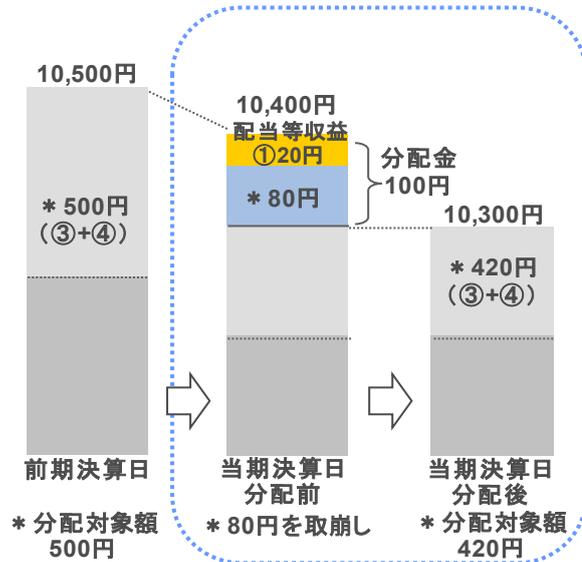
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合



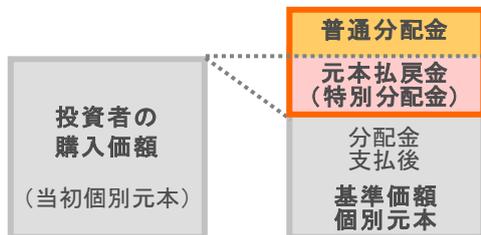
前期決算から基準価額が下落した場合



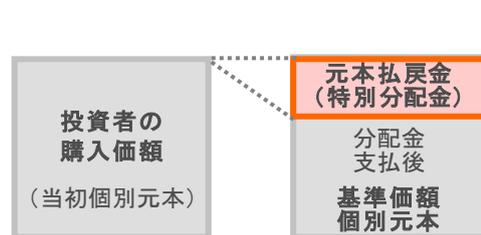
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
 ※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

- 普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
- 元本払戻金(特別分配金) : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。